

東京吉川会

東京吉川会 会長

関澤英世

東京吉川会は、平成五年十月十六日、上野の山「東天紅」において約二百名の参加者のもと産声を上げました。

会の発足の趣旨は、会員相互の親睦と故郷との交流が大きな目的であります。

現在の会員は約四百名です。

主な事業としては、ふるさと訪問や、「吉川町さけ祭り」を始めとするふるさとのイベント行事への参加、東京で行う行事への協力、更には定期的に行っている会員の親睦などであります。

当会としては、今後も基本的姿勢は継続しつつも、上越市と緊密な関係を築いて相互の発展に資したいと考えています。

「事務局」

会長 関澤英世

〇三・三三〇九・〇〇〇五

副会長 大井精二

〇四七・一五四・四八七七

佐藤知博

〇四七・四五九・〇八八三

高倉敏子

〇三・三八九一・一二三三五

幹事長 平山 勇

〇四三・四八五・〇三四七

副幹事長

小泉栄子

〇四六・二二二・一八五四

安島和夫

〇三・五三六一・六一七〇



会場 道の駅よしかわ杜氏の郷(2005. 10. 2)

わが故里に

世界に誇れる文化あり

越後よしかわ酒まつり

東京吉川会

余談

鉄道唱歌の信越版をご存知ですか。

無情を告ぐる鐘の音に 吉田・豊野も夢と過ぎ

つきしは牟礼の停車場 四方の眺望おもしろき

戸隴山は屹然と怒るが如く峙ちて

黒姫山は優然と笑うが如く相対す

煙や靡く柏原東へ一里野尻町

ささ波清き天幕湖や 周囲三里三十町

いざ別れゆく信濃路の名残とどむる関川や

渡るかなたは田口駅 はや越後路に入りけり

赤倉温泉名に高く妙高山を背に負いて

遙に望む北の海 唯一目に見渡さる

関川つたいめぐりゆく 轍とどむる関山や

片貝川の鉄橋を渡ればやがて新井駅

県内第二の都会なる 高田の町もとく過ぎて

汽笛の声に響けば はや直江津に着きにけり

近來聞けし町にして 北海主要の良港ぞ

港内帆柱林立し 船船常に出入りす

春日山頭にしえの 姿はあとも遠らねど

霜夜を照らす月かげに 泣き行く雁や忍ぶらん